

令和6年(2024年)7月10日
北海道中学校体育連盟 卓球専門委員会

北海道中学校体育大会(卓球競技)における熱中症防止対策についての留意事項

北海道中学校体育大会の卓球競技において、「北海道中学校体育大会における熱中症防止対策(令和6年6月25日)」に基づき、必要な対策を講ずるとともに下記のような留意事項を踏まえて競技を進行する。

○換気について

- ・大会中は競技の妨げとなる日光(とその反射)や風による影響に配慮した形で、会場内への外気の取り入れや換気を常時行う。
- ・定期的なWBGT(暑さ指数)の測定とともに、WBGTが25℃以上になった場合は継続的に会場にいる競技者や役員への休息時間の確保を行う。また、WBGTが28℃以上になった場合は競技を一度止めて、会場内の一斉換気の実施と競技者や役員などの休息時間を確保する。

○熱中症特別警戒アラートが出た場合やWBGTが31℃を超えた場合の全国大会の代表校の選出について

【基本的な考え】

- ・上記の理由で競技を中止し、大会期間中に代表校の選出が困難であると判断した場合は、後日代替の試合などは行わず、その時点で勝ち残っているチーム(選手)の中から全国大会への参加の確認をとった上で、参加を希望するチームの中から抽選で代表チーム(選手)を選出する。
- ・抽選については、団体戦はチームの監督、個人戦は選手自身によるくじ引きを行う。

【熱中症特別警戒アラート(※)により競技が進行されずに大会が中止になった場合】

- ①…管内(地区)順位を優先し、管内1位代表の中から抽選する。
- ②…①の抽選後、枠が余った場合は、順に管内2位の中から抽選する。
- ③…②と同様にさらに枠が余った場合は管内3位、管内4位…と繰り下げながら抽選し、代表数すべての選手・チームを選出する。

※熱中症特別警戒アラートは2024年4月に新設されたアラート情報です。開催地域にて熱中症特別警戒アラートが発出された場合は、会場の空調設備等の有無に関係なく大会の中止を検討します。今年度については上記のように対応しますが、来年度の(大会が中止になった場合の)選出方法については、連盟大会の結果等も参考にして抽選ができるよう協議をすすめていく予定です。